

平成29年度9月補正予算案の概要

安心な暮らしづくりと 活力あふれる“まち”の実現

静岡県藤枝市

平成29年 8月22日

9月補正予算編成 基本方針

I 安心して健全なまちを創る

- ◆ 安全で安心な暮らしを創る
- ◆ 快適で安心な暮らしを創る

II 未来に向けたまちを創る

- ◆ 健やかな暮らしと子どもを育み、次世代を創る
- ◆ 産業としごとを創る

■補正予算の規模

一般会計 9億1,000万円

全会計

区 分	既定予算	9月補正 予算額	補正後 予算額
一般会計	503億 450万円	9億1,000万円	512億1,450万円
特別会計	337億5,900万円	12億7,200万円	350億3,100万円
企業会計	223億 200万円	—	223億 200万円
合 計	1,063億6,550万円	21億8,200万円	1,085億4,750万円

※特別会計・・・国民健康保険事業・介護保険(国県等返還金、基金積立等)
内陸フロンティア事業(県企業局への負担金) 等

市の財政運営による成果を市民に還元

9. 1億円

還元
2. 3億円

- 基盤整備等
1億7千万円
 - ・道路 1億1千万円
 - ・河川水路 4千万円
 - ・農業施設 2千万円
- 学びの環境整備
2千万円
- 憩いの環境整備
2千万円
- スポーツ環境整備
2千万円

- 内陸フロンティア
5億円
- 水害対策
3千万円
- 少子化対策
2千万円
- その他
1億3千万円

財源

交付税等
3億4千万円

県支出金
2千万円

起債
1億9千万円

3. 5億円



H28 予算

将来への積立て 19億円

繰越金 22. 5億円



H28 決算

実質収支

約27億円

歳出削減

- 予算の「使い切り型」から「繰り越し型」へ

歳入確保

- 国県支出金等の特定財源を新たに確保

平成28年度末における財政の健全化状況

実質公債比率(借入金の返済に係る負担の重さを示す指標)
将来負担比率(将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標)

10. 7% (前年度比▲ 0. 4%)
11. 0% (前年度比▲21. 6%)

健全度は
更に改善

■補正予算のポイント

★「藤枝のまち創り」の加速化



①九州北部豪雨等を受けて水害対策を強化

【“全国初” IoT(LPWA)の活用】



②少子化対策と子育て環境を充実

【ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業の活用】



③雇用、産業振興対策として工業団地を整備

【“県内初” 県企業局による工業団地セミオーダーメイド造成事業】

I. 安心で健全なまちを創る

安全で安心な暮らしを創る

■ 水害対策の推進

全国初！

【新】河川水位・雨量観測システム整備事業費

1,500万円

全国初となるIoT(LPWA)を活用し、降雨データを取得することにより消防団等が避難広報を迅速に行うために河川水位計、雨量計を市内に設置

- ・水位計 8基
朝比奈川・葉梨川・栃山川・東光寺谷川
法ノ川・藤岡川・小石川・黒石川 各1基
- ・雨量計 2基
葉梨地区・大洲地区 各1基



情報については市ホームページで閲覧可能



【**倍增**】河川浚渫経費

1,000万円

河川、調整池の堆積土砂等を除去し、安全な河川環境を維持
・藤岡川、白藤川、宮原川、岡部台調整池 等

【**拡**】河川・水路改良費

4,000万円

安全な河川、水路環境を整備

- ・内瀬戸谷川護岸整備工事
- ・黒石川護岸整備工事
- ・小石川護岸整備工事 等



【**倍增**】農業用排水路浸水等対策事業費

2,000万円

安全な農業施設を整備

- ・大東町地内用水路改良工事
- ・中ノ合地内用水路改良工事
- ・谷稲葉地内用水路改良工事 等

■ 生活基盤整備の推進

【拡】 暮らしの道緊急修繕事業費

5,000万円

安全な道路環境を維持

- ・自治会、町内会等からの情報提供(危険箇所等)への対応

【拡】 道路新設改良事業費

6,000万円

緊急性の高い地元要望に対応し、安全な道路環境を整備

- ・市道青木藤枝線(青木三丁目)道路整備工事
- ・市道2地区98号線(高柳四丁目)道路整備工事
- ・市道村良カコメン2号線(村良)道路整備工事
- ・市道5地区138号線(八幡)舗装改良工事 等



快適で安心な暮らしを創る

【新】学びの環境を整備

2,000万円

市民の文化活動を支援するため、地区交流センター、岡出山図書館等を整備
・トイレの洋式化 等

【新】憩いの環境を整備

2,000万円

市民が憩いの場として快適に利用できる空間とするために、公園環境を整備
・遊具改修(貝立公園等)、階段改修(岩城山緑地等)
休憩施設改修(大島公園等)、樹木伐採、植栽(岡出山公園) 等

【新】スポーツ環境を整備

2,000万円

市民のスポーツ活動を支援するため、スポーツ施設を整備
・市民体育館、武道館ガラス飛散防止 等

Ⅱ. 未来に向けたまちを創る

健やかな暮らしと子どもを育み、次世代を創る

【新】少子化突破戦略事業費

2,000万円

〔ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業費補助金 1/2〕

子育て環境の充実と市民が2人目以降の子どもを持ちたいという希望がかなえられる環境づくりの推進

◆ 保育士等が働きやすい職場づくりのための手引書の作成

- ・アンケート調査、ワークショップの開催

◆ あかちゃん駅設置促進事業

- ・補助率 3/4（限度額37.5万円）
- ・30か所（H29～H31）

◆ 産前産後サポート事業

- ・産前、産後の心身の回復と次の妊娠への支援
- ・年9回（産前3回、産後6回）

など



県内自治体初！

【拡】サイエンスキッズ育成事業費

120万円

県内自治体初となる国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との連携協定締結に伴い宇宙航空教育活動を通じて次世代を担う人財育成を推進

(既定予算500万円と合わせ全体事業費620万円)

○ 補正により追加する事業

◆ 筑波宇宙センター見学会及び勉強会

- ・小学校5・6年生とその保護者が対象
- ・20組(40名) 年2回

◆ 小中学校でのJAXA支援による授業

- ・年5回

◆ 教職員、社会活動指導者に対する研修会

- ・年6回



産業としごとを創る

県内初！

【新】内陸フロンティア「高田地区」の推進

◆ 高田地区工業団地整備事業費

5億円

内陸フロンティア「高田地区」に工業用地を確保し、工業・物流系産業を誘導・集積することで、新たな雇用創出等、地域産業の活性化を図る

- ・静岡県との協定締結（平成29年10月予定）に基づく負担金
- ・県企業局による工業団地セミオーダーメイド造成事業

◆ 内陸フロンティア事業特別会計の設置

- ・分譲予定面積 約8.4ha 7区画
- ・分譲予定時期 平成32年10月～平成33年7月を予定

《イメージ図》



